



平成28年 6月15日 NO.20
〒311-1114 水戸市塩崎町1016
TEL029-269-2116
FAX029-269-3160
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

挨拶が全ての基本

「校長先生、おはようございます。」
「おはようございます。」
小雨の中、練習中のサッカー部一年生たちから元気な挨拶をいただいた。
「全員の声に対し、一人でも絶対負けない」というプライドをこめた音量で、校長から、サッカー部員たちに挨拶を返した。
常澄中学校では、『挨拶』を大切にしている。

「たたく」の心は、「人（相手）の心」。これは、もちろんだ。しかし、それだけでは「ソバにやる気」であり、「そばにいる仲間」の心。例えば「団結心」をもなのだ。
だから挨拶は、心を込めて、さわやかに声を発するべきだと信じている。
今年に入って、全体的に挨拶の声が小さくなっていて、相手の目を見て、また、自分の心を感じて挨拶をする人が少ない、という評価は淋しい。そのような現状の中、今朝のサッカー部の「おはようございます。」という挨拶には、さわやかさが感じられた。
非常にうれしかった。
スポーツや学力でよい成績をとるだけでは、足りないと思う。それを支える心をも、同時に育てて欲しい。そう願っている。



校長への礼は、校長個人への礼だけではないです。校長は、学校の象徴であり、自分自身（あなた自身）のプライドの象徴です。だから、壮行会で見せてくれた田村君のこの素晴らしい礼の姿は、校長へ礼をしていると同時に、常澄中学校という学校で学ぶ自分自身の誇りに対して、また、常中である仲間に対して、礼をしているのです。このように心を創っていく人は、必ずどんな場面でも、自分自身を發揮する精神力と誇りを身に付けることができます。

歯肉炎予防のためのブラッシング指導



川上恵子 養護教諭



磨き残しは無いかな

一年生たちは今、養護教諭川上恵子先生の指導で、歯肉炎防止を含め、ブラッシングの学習に取り組んでいます。歯肉炎になる理由を知り、歯肉観察のポイントを知る。自分の歯肉の観察をする。歯垢染め出し検査をする。※自分の歯の磨き残しを観察する。このような学習内容です。健康は、歯からつくられます。大切にしてほしいです。

各小学校より、熊本への義援金届く

JRC委員会（菊池はるか委員長）の呼びかけに生徒会が応え、JRCと生徒会が各小学校とともに、行ってきた熊本県への義援金、中学校に納付届いてきました。昨日までに、全小学校から児童代表たちが訪れていました。稲荷第二小学校からは、高瀬さん、佐藤さんの二人が訪れ、JRC委員会の鈴木千裕さんに、集まった義援金を渡してくれました。各小学校から集まった義援金に、常中で集まった義援金を合わせたとなり、総額一四万三千八百六十六円となりました。このお金は、水戸市校長会を通じて、熊本県の被災市町村の校長



義援金届けてくれた稲荷二小の児童

会に届けられる予定です。ご協力ありがとうございました。

